

# 金沢大学における情報システム融合化の試み

高田 良宏, 東 昭孝, 笠原 禎也, 二木 恵, 松平 拓也, 森 祥寛(金沢大学総合メディア基盤センター)  
yoshihiro@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

**概要** 本学では、全構成員に対する利便性の向上、蓄積されるデータの信頼性確保と利活用、および、情報システム構築・運用にかかるコストの削減を目指し、ワンライティング化、ワンストップサービス化に向けて情報システム融合化を進めている。SSOシステムと全学向けポータルサイトの構築を進めると共に、全構成員の基本情報の一元管理、関連するデータベース・情報システムの集約、情報システム間のデータ連携の再構築等を進めている。

## 取り組みの背景

### 情報システムの問題点

**情報システムの整備事業** は、部局別、目的別、さらには個別の業務ごとに、他システムとの関係は考慮されず、それぞれ独立して行われてきた。

**その結果**、個々の業務の改善は達成されたが、大学全体としては、情報流通の阻害、開発費の増大、人件費の増大、利用者に多数のIDを管理させることによるリスクの増大、利用者向けサービスの低下など、さまざまな問題を引き起こすに至った。

**これらの問題の改善は焦眉となっていた**

### 情報戦略本部

金沢大学の教育・研究および事務の情報化を全学的視野で効果的かつ戦略的に推進し、ITマネジメント体制の確立を目指すために金沢大学情報戦略本部を設置した(2008年7月)。

→ **情報基盤整備、情報発信機能、情報セキュリティ対策およびITコンプライアンスなどの情報施策を戦略的かつ計画的に実現する！！**

### 基準原則の作成

全構成員に対する利便性の向上、蓄積されるデータの信頼性確保と利活用、および、情報システム構築・運用にかかるコストの削減を目指し、情報システムの融合化を進める。

情報システム整備・融合部会および事務情報化推進部会

→ 「**業務システム融合化に関する基準原則及び技術原則**」を作成

### ワンライティング化

発生源入力を基本とし、データの統合が進み、システム間でデータ連携が行われている状態をさす

### ワンストップサービス化

同一端末から同一IDを用いて単一のサイトに接続することにより、基本的に全てのサービスを受けられる状態をさす ※単一サイト:ここではポータルを想定

## 今回の範囲

### 情報システムの融合化

- ① IDの集約\*1
- ② シングルサインオン\*2システムと全学向けポータルサイトの構築
- ③ 全構成員の基本情報の一元管理
- ④ 関連するデータベース・情報システムの集約
- ⑤ 情報システム間のデータ連携の再構築

\*1 シングルサインオン導入を前提として  
\*2 シングルサインオン: (Single Sign-On, 以下, SSO)

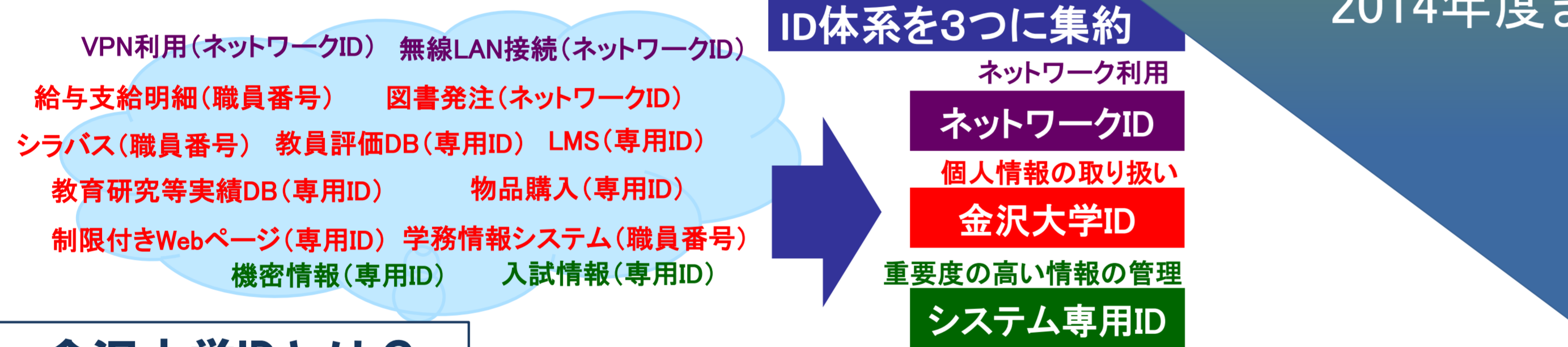
### 活動形態

**学内におけるイニシアティブ** を確保するため、全学的な情報に関わる戦略および実務を統括する情報戦略本部の傘下のWGという活動形態をとることにより、この取り組みを実施した(例 統合認証・ポータル整備WG, 教員情報DB.WG, …)。

対象範囲を業務システムから全学の情報システムに拡大

2009年度～2012年度  
2014年度まで延長決定

### ① IDの集約(金沢大学IDの導入)



#### 金沢大学IDとは?

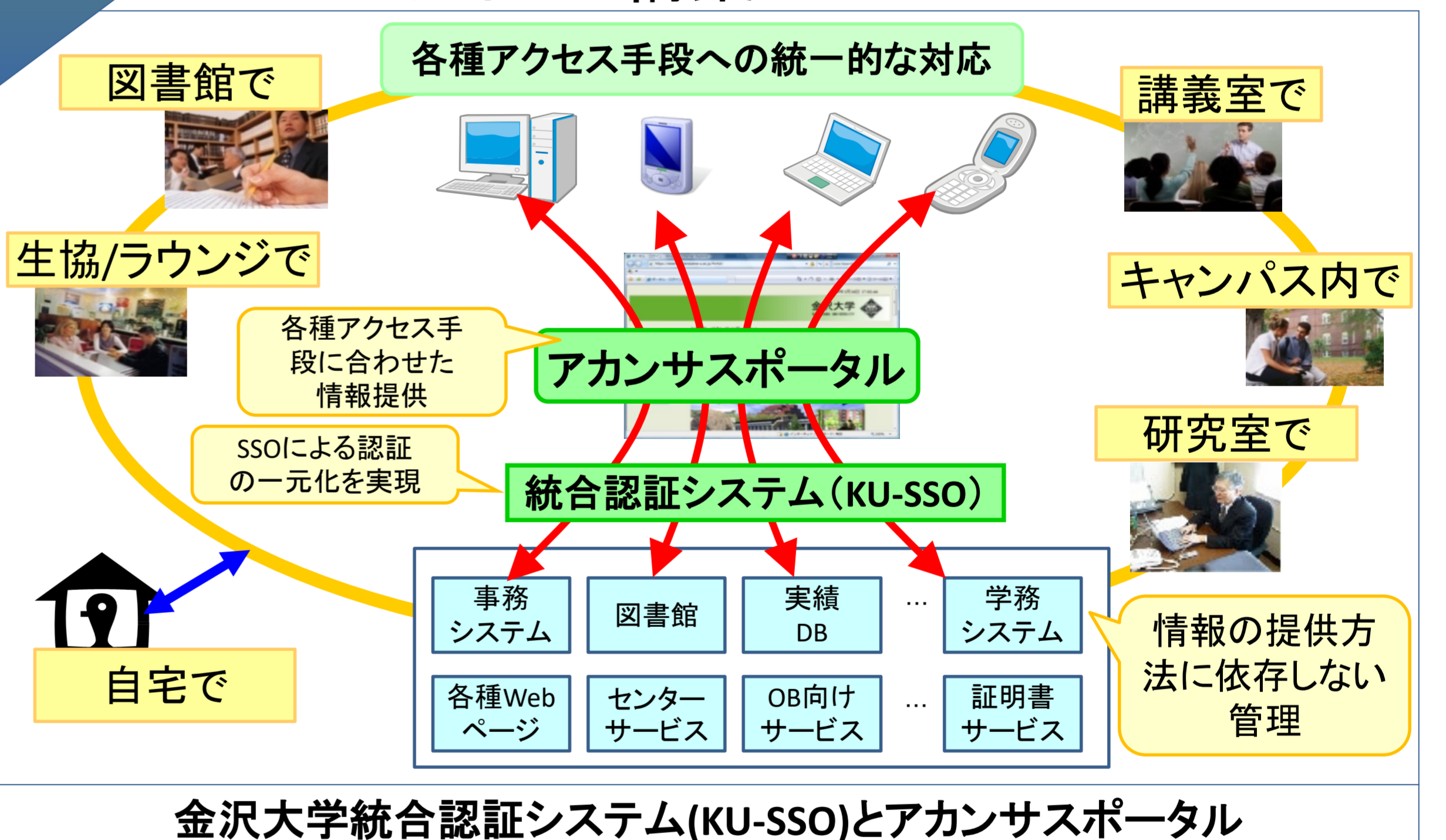
**金沢大学ID** 1対1対応 金沢大学の学生・教員・職員・OB他

**ポイント:** 1人に1つ付与される生涯ID

**学生の場合**  
・入学時点で、1人に1つずつ付与。卒業後もID自体は抹消されない(卒業生向けサービスの利用に使える)。卒業後に金沢大学の教職員になっても、そのままのIDが業務に使用できる。

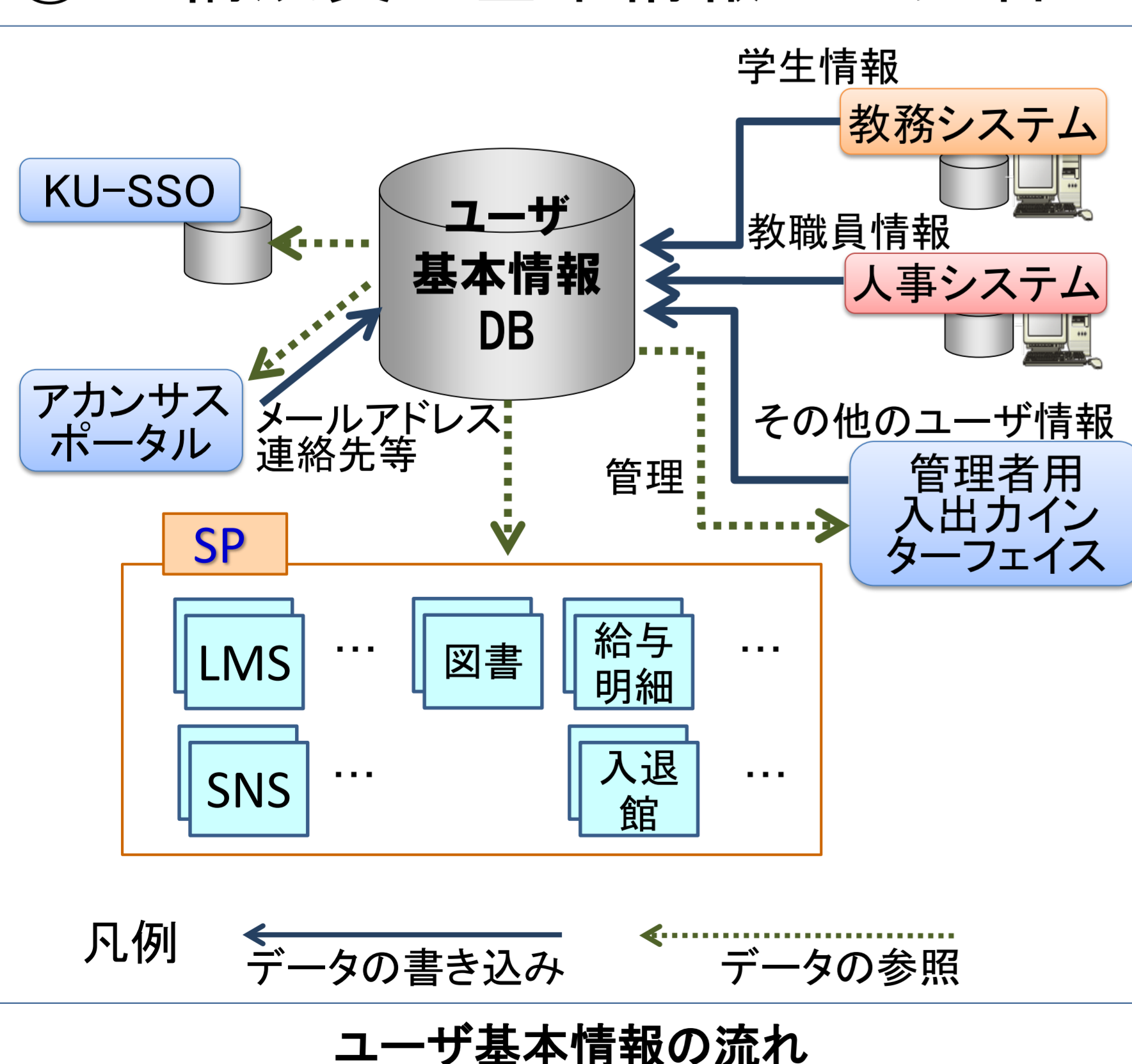
**教職員の場合**  
・採用時点で、1人に1つずつ付与。非常勤職員も与えられる。一度与えられると、人事異動、所属変更・退職後も変わらない。再雇用時も同一のIDが使用できる。

### ② SSOシステムと全学向けポータルサイトの構築



金沢大学統合認証システム(KU-SSO)とアカンサスポータル

### ③ 全構成員の基本情報の一元管理

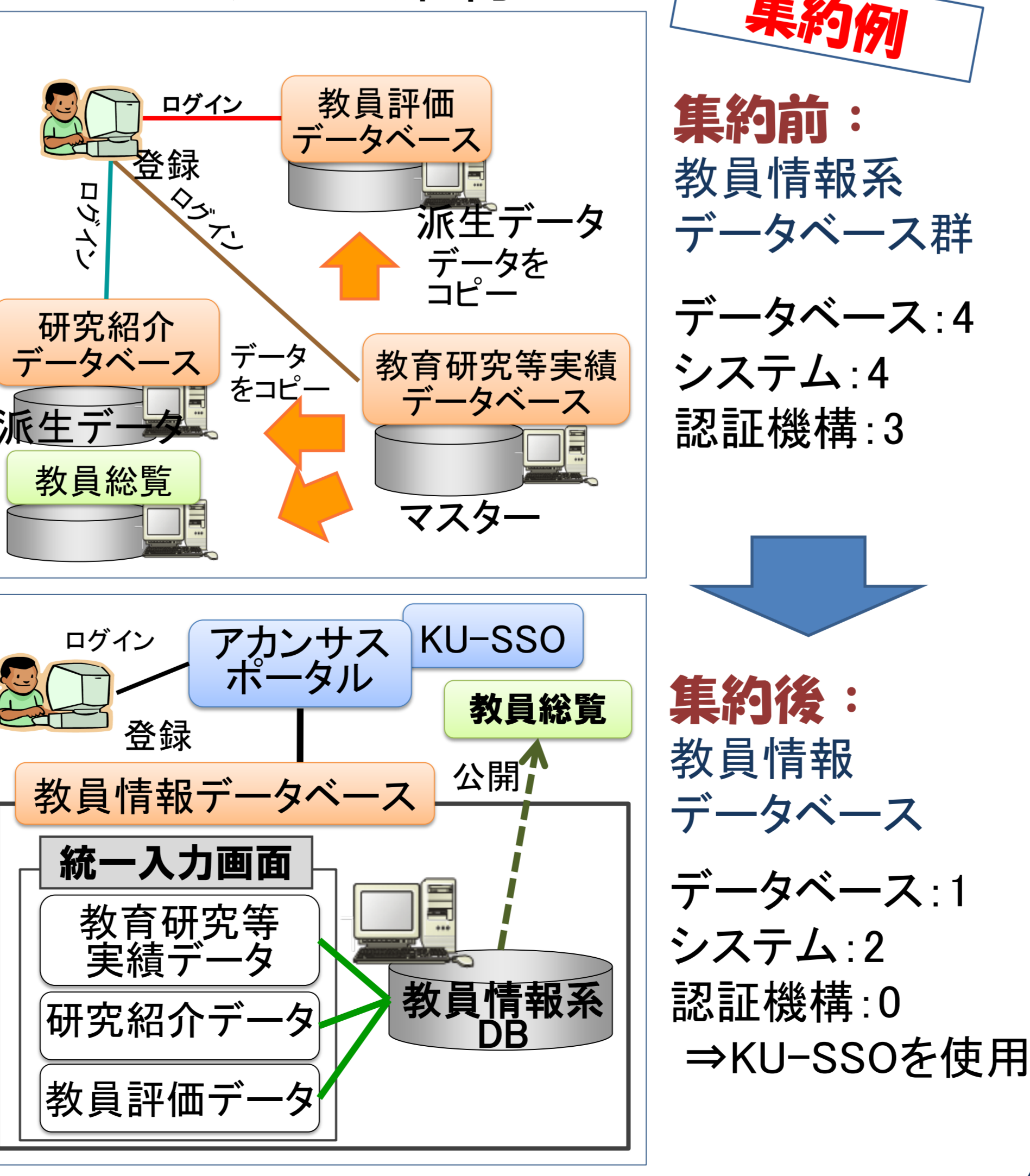


凡例 ← データの書き込み ← データの参照  
ユーザ基本情報の流れ

**情報の流れの整理**  
・全構成員の情報の管理: 教務システムでも、人事システムでも管理されていない人の管理  
⇒ 派遣職員、図書館利用者(学外利用者)、共同研究者・客員研究員等(無給の場合)等

**ポイント**

### ④ 関連するデータベース・情報システムの集約

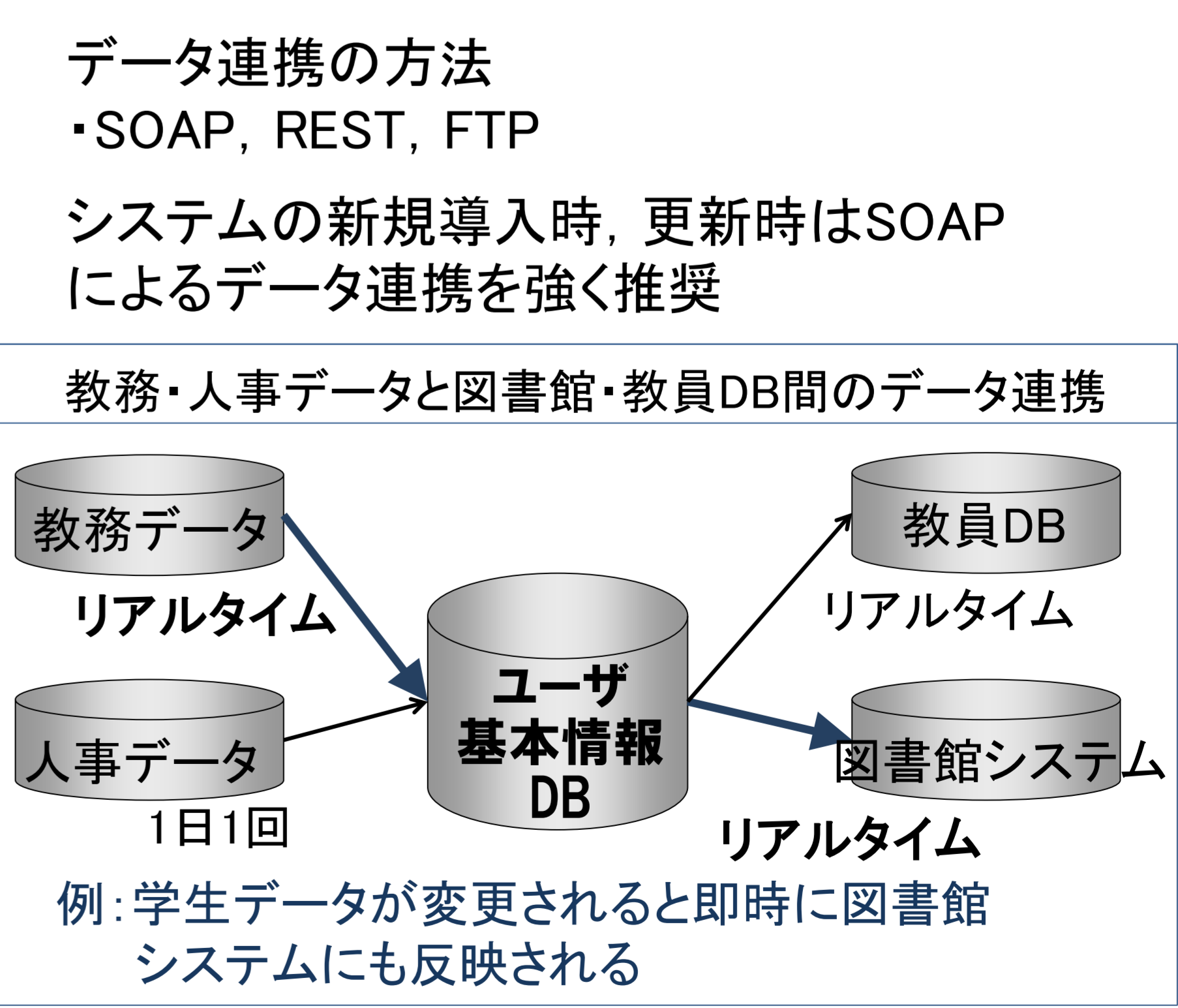


#### 集約例

**集約前:**  
教員情報系データベース群  
データベース: 4  
システム: 4  
認証機構: 3

**集約後:**  
教員情報データベース  
データベース: 1  
システム: 2  
認証機構: 0  
⇒ KU-SSOを使用

### ⑤ 情報システム間のデータ連携の再構築



#### 課題

- ① セキュリティ向上(高次の認証機構導入)
- ② データベース・システムの完全二重化
- ③ 365日24時間運用
- ④ 窓口の一元化(組織の課題)